

1. 町田市住みよい街づくり条例を取り巻く状況と見直しの趣旨

【現在の条例の趣旨】

市民が主役の街づくりを標榜し、地域及び地区の特性を生かした個性ある街づくりの実現を目的に制定。2004年に施行、15年が経過。

【主な内容】

①地区街づくりの支援

- ・地区計画の策定を目的とした地区の住民等による街づくりを支援。
- ・地区の住民等が主役となり、ステップを経ながら合意形成を図り「地区街づくりプラン」を作成。



★現状・課題：地区街づくり団体は10団体

- ・条例制定後の数年で認定された団体が多く、近年は団体数が伸び悩み
- ・地区街づくりプラン（方針）を策定後、ソフト的な活動に取り組む地区が多い
- ・地区街づくりプランの「計画」部分の地元合意が困難。地区計画の策定に至った地区がない。

②街づくり市民活動の支援

- ・環境保全又は市街地整備にかかる特定のテーマに賛同する者が集まって行う研究又は実践活動を支援。

★現状・課題

- ・街づくり市民団体は2団体。条例で認定しているテーマ型の団体が少ない。

※上記①②の他に、街づくりに関する内容として「早期周知による街づくり」がある

見直し

【見直しの方向】

公共施設の活用やエリアマネジメントをはじめ、**地域の価値創造につながる広範なまちづくり活動**に対して積極的な支援を行える仕組みへと進化させる

【主なポイント】

① 条例の目的や定義の再確認、条例が対象とする「街づくり」の範囲の再考

- ・「地域及び地区の特性を生かした個性ある街づくりの実現を図る」という条例の基本的な考え方は変わらない。
- ・一定の広がり（地区・まち）を対象にした取り組みを対象とし、ソフトの要素も含めた広範な「街づくり」へ対象を広げていく。

② 従来の枠組みに捉われない広範な街づくり活動の支援

- ・「街づくり活動」を環境保全や市街地整備をはじめ、地域資源を活かしながら「**地区**」や「**まち**」を「**つかう**」「**なおす**」「**たもつ**」「**つくる**」「**みせる**」という**行為や活動**として捉える。
- ・「まちだ〇ごと大作戦」等から生まれた「まちを良くするプロジェクト」を受け止め、「街づくり活動」として積極的に支援し、市民発意の街づくりの実現体制を整える。
- ・一定のエリアで生まれたプロジェクト・活動をつなぎあわせるように、地域に活動主体のまとまりを形成する。
- ・複数の活動主体・プロジェクトに**共通するビジョン**を描くことができる枠組みをつくり、このビジョン（まちの将来像）を「（仮称）都市づくりのマスタープラン」の一部として位置付けるとともに、ビジョンを実現するための新たなプロジェクトや取組みの実践に対する支援を行う。

③ 多様化する街づくりに対応した具体的な支援手法の枠組み

- ・プロジェクトへの支援や活動団体への支援など、適切かつ効果的に支援が行える具体的な方法を構築する。

④ 市民主体の街づくり活動を支える体制の枠組みの検討

- ・市民主体の街づくり活動を支援する庁内各分野と支援体制の役割分担等を整理する。
- ・大学やコンサルタントなど、外部の専門家の協力も得ながら街づくりの効果的な支援体制を整える。

対応・役割分担

近年の町田市内における主な市民主体の街づくり活動の展開

まちだ〇ごと大作戦（担当：広報課）

- ・2018年度から2020年度までの3年間の期間限定の事業として市民・地域団体・企業が自らやってみたいと思う取組みを支援。
- ・シティプロモーション戦略の一環。
- ・多様な分野の活動（作戦）が展開。
※スポーツ・健康・文化・芸術・観光・おもてなし、福祉・子育て、地域交流、自然環境、安全・安心、教育・生涯学習、街づくり、賑わい・経済など
- ・現在100を超える作戦が実施。（実施中67件、終了45件、計112件 2019年10月18日時点）
- ・活動の中には、地区の街づくりにかかわる活動も多く含まれている。

★地区の街づくりに関わる活動(作戦)の例

- 空き店舗を活用した地域の場づくり(相原)
- TSUTAYAの店舗スペースの提供(忠生)
- 古民家を活用した地域の魅力向上・発信(鶴川)
- 高齢者の買い物・移動支援(鶴川団地・鞍掛台)
- 地域による高齢者の日常生活支援(玉ちゃんサービス)
- 駐車場のシェアシステムの構築(南町田)



地区協議会（担当：市民協働推進課）

- ・地区の課題解決に取り組むネットワーク組織として設立。
- ・町田市内を10地区に分け、10団体が活動。
- ・各地区年間100万円を助成、地区独自の活動を実施。
- ・地区協議会の活動拠点を提供。
- ・活動は地区協議会に参画する各活動団体が実施。
- ・地域おうえんコーディネーターが活動を支援。

【地区協議会の活動例】



（一財）町田市地域活動サポートオフィス

- ・団体と地域住民、企業をつなぐコーディネート、人材育成や組織運営に関する講座、団体活動の紹介などを行い、人づくり、組織づくり、情報の集約と拡散に特化した中間支援組織。2019年4月8日設立。
- ・今年度設立されたばかりで、具体的な活動方針はこれから。
- ・現時点では独自財源はなく活動助成等は行っていない。

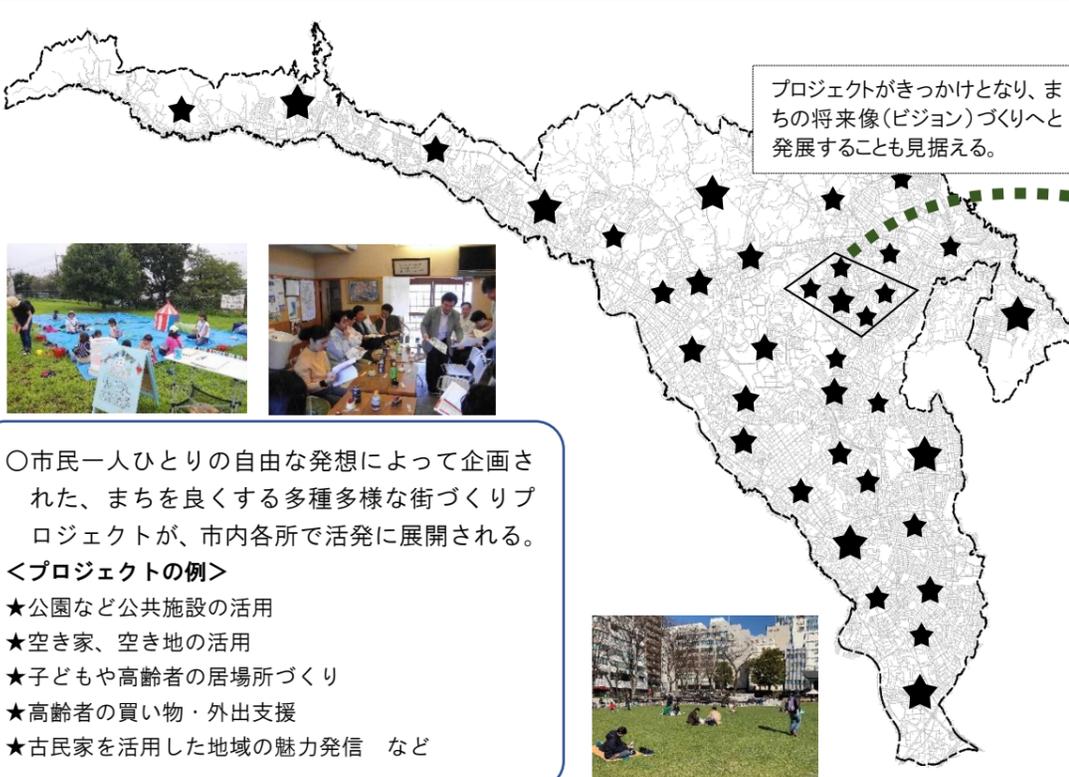


地域活動サポートオフィス

<条例が目指す街づくりのイメージ>

条例が目指す街づくりのイメージ

まちを良くする多種多様な「街づくりプロジェクト」が
市内の各所で活発に展開される



プロジェクトがきっかけとなり、まちの将来像(ビジョン)づくりへと発展することも見据える。

○市民一人ひとりの自由な発想によって企画された、まちを良くする多種多様な街づくりプロジェクトが、市内各所で活発に展開される。

<プロジェクトの例>

- ★公園など公共施設の活用
- ★空き家、空き地の活用
- ★子どもや高齢者の居場所づくり
- ★高齢者の買い物・外出支援
- ★古民家を活用した地域の魅力発信 など

つながりを活かして描かれたまちの将来像(ビジョン)の実現をとおして、
新たな街づくり活動が活発になる

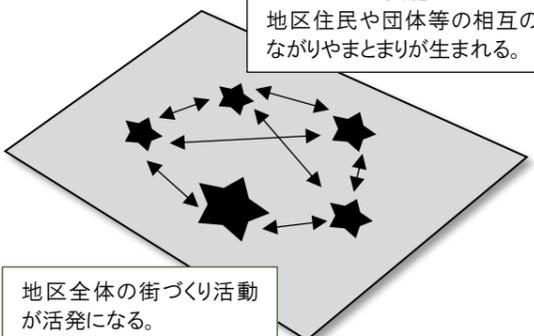
街づくり活動が活発になることで、まちの中で人と人、団体相互の新しいつながりが生まれる

○街づくりプロジェクトを実現するために、まちの中で新たな対話や協力が生まれるなど、街づくり活動が活発になることで、地区住民相互の新しいつながりが生まれる。

まちの将来像(ビジョン)が描かれ・実現され、新たな活動が生まれる

○新たに生まれたつながり等を活かして集まった地区住民等によって、まちの将来像(ビジョン)が描かれる。
○描かれたまちの将来像(ビジョン)を実現していくために、地区住民と市が協働しながら取り組む。

プロジェクトの実施をきっかけに、地区住民や団体等の相互のつながりやまとまりが生まれる。

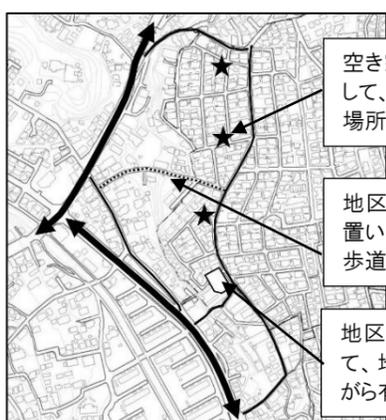


地区全体の街づくり活動が活発になる。

空き家を地区住民で管理して、子どもや高齢者の居場所をつくりたい。

地区内の小道にベンチを置いて、安全で安心な散歩道にしたい。

地区内の空き地を整備して、地区住民が管理しながら有効に使いたい。



<p>街づくり主体</p> <p>市民グループ 地区住民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市民が自由な発想でまちを良くする個々の街づくりプロジェクトを企画する。 ○街づくりプロジェクトに賛同し一緒に取り組む仲間集める。 ○仲間とともに練り上げた街づくりプロジェクトを市に提案する。 ○認定された街づくりプロジェクトを楽しみながら実践する。
---	--

○街づくりプロジェクトの実施など、街づくり活動を通じて、地区住民相互の新たなつながりをつくる。

○つながりを活かして集まった地区住民等が、実現したいことや地区への思いなどを話し合い、まちの将来像(ビジョン)を描き、市に提案するとともに、まち全体で共有しながら実現していく。
○まちの将来像(ビジョン)の実現をとおして新たな街づくり活動が生まれ、活動が継続される。

<p>行政</p> <p>街づくり 市民協働 地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の街づくりプロジェクトが充実したものになるよう相談を受け付ける。 ○提案された街づくりプロジェクトを審査し認定する。 ○認定した街づくりプロジェクトの成功に向けて支援する。 ○街づくりプロジェクトを増やし、市内全域で活発な街づくり活動が行われるよう積極的に取り組む。 	<p style="text-align: center;"><主な支援内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の支援 ・人材やノウハウの支援 ・プロジェクトの実施のための場や機会の支援 ・資金の支援
--	---	---

○地区内の街づくりプロジェクト相互の橋渡しを行うなど、新しいつながりが生まれる手助けをする。
○地区協議会など、関連する団体等とのつながりをつくる。

○まちの将来像(ビジョン)のとりまとめを支援する
○提案されたまちの将来像(ビジョン)を実現するための地区住民と市の協働の方針を検討し、実施していく。
○まちの将来像(ビジョン)を(仮称)都市づくりのマスタープランと連動させる。

<p>専門家</p> <p>支援組織 街づくりアドバイザー 大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の街づくりプロジェクトが充実したものになるために、具体的な提案やアドバイスを行う。
---	--

○個々の街づくりプロジェクトの発展を後押しする。時には一緒になって実践する。
○地区内の新しいつながりが生まれるよう支援する。
○まちの将来像(ビジョン)づくりにつながることを見据えながら、提案やアドバイスをする。

○地区住民等がまちの将来像(ビジョン)が描けるよう、具体的な提案やアドバイスを行うなど、作成プロセスに寄り添う。
○まちの将来像(ビジョン)の実施状況をみながら、定期的な見直しの検討など、街づくり活動の進捗にあわせて提案やアドバイスをする。